



わた なべ よし みつ
渡辺義光 議員
(新政クラブ)

新庁舎に新しい風と活気 意識改革と接遇向上徹底

渡辺議員 市民が待望した新庁舎が完成した。八幡平市を象徴し、市民に愛される庁舎で、行政サービスの向上や職員の意識改革をどのように考えているか。

市長 多目的ホールや結のひろばなどを広く活用し、市民の一体感の醸成が図られることを期待している。新庁舎の完成を機に、常に職員心得五カ条を意識して、一丸となり行政サービスを向上に努めたい。

渡辺議員 新庁舎の一般公開見学者や来庁者の意見、要望事項はどうだったか。

市長 特に若い世代に興味・関心を持ってもらい、観光市場としての可能性を感じた。来年度は、タイの観光イベントに観光関係者などを派遣し、観光と特産品をPRしたい。また、八幡平市を訪れたタマサート大学生OBとの交流、連携を深め誘客事業を展開していきたい。



市長自らが八幡平市をPR
(昨年11月16日、タイ・バンコク)

郷土芸能保存と支援

渡辺議員 郷土芸能や伝統行事の継承と保存が危惧されている。育成と支援の考えは。

教育長 来年度に記録保存や後継者育成、情報発信、公開などに活用するため、市指定無形民俗文化財を撮影したDVDの制作を検討している。



く どうりゅういち
工藤隆一 議員
(八起会)

外国人旅行者に免税販売 滞在型観光地化へ意欲

工藤議員 訪日外国人旅行者への消費税免税店化の取り組みが必要ではないか。

市長 免税店も含めた外国人観光客への観光ルートや体験、トレッキングなどメニューを広げ、滞在型の観光地にしなればならないと考える。

工藤議員 観光地や公共施設で、多言語の表示が必要ではないか。

市長 ピクトグラムと言われる案内用図記号を使用すれば日本人、外国人を問わず案内できるので、順次整備に努めたい。

教育長 児童生徒が勤労観・職業観などを身につける活動の支援などをした。成果として、あいさつや言葉遣いなど日常的な取り組みがきちんとされコミュニケーション能力が高まったほか、体験活動を通じ、具体的な職業について、関心を持ち理解を深めることができたと考えている。



キャリア教育は次代を担う人づくり
(西根中学校の職場体験)＝同校提供＝

認知症の行方不明者

工藤議員 認知症で捜索依頼があった行方不明者はいるか。

市長 市で把握している認知症の行方不明者はいない。捜索に関しては、認知症高齢者の早期発見と保護などを目的とした広域的なシステム構築に現在取り組んでいる。



はたけ やま やすし
畠山 康 議員
(八起会)

いわて国体への取り組み 発信する最大のチャンス

畠山議員 平成28年に希望郷いわて国体が開催されるが、ボランティアの予定人員は。 **市長** 本大会8会場と冬季大会3会場それぞれで50人から100人程度を考えている。広く募集を図りたい。

市長 本年度から取り組んでいる花いっぱい運動を引き続き展開していくほか、参加都道府県の応援メッセージを書いた歓迎、応援のぼり旗の作成を計画している。

畠山議員 八幡平市らしさを発信していくための工夫は。 **市長** 本年度、市独自の国体スローガンを募集し、決定した。今後は市の食材を選手の食事や弁当に使用するなど、農の部分をより強く発信していきたい。

市長 特産品や観光資源をどのように活用していくか。 **市長** 国体は八幡平市を全国に発信する絶好のチャンスと捉えている。各競技会場に特産品などを販売するブースを設けることと併せて、観光PRを検討している。



松川地区の天にそびえ立つ参考林

松川地区参考林を 観光資源の活用に

畠山議員 松川地区の学術参考林(松森山御堂松)を観光資源として活用できないか。

市長 植物群落保護林は被害虫のまん延を防ぐための被害木の伐採以外はできないなど厳しい制約があるが、アカマツの美林の景観を復活させ、貴重な観光資源としての活用を図るためにも岩手北部森林管理署をはじめ各関係機関に強く訴えていく。

●他の質問事項 県の次期産業廃棄物最終処分場について



たかはし えつろう
高橋悦郎 議員
(日本共産党)

米価を市場任せで良いか 供給コントロールに期待



需要に見合った生産量の確保を
(西根地区の大型ライスセンター)

高橋議員 26年産米の米価は前年比約30%の衝撃的な下落となった。この米価下落による影響額はいくらか。
市長 農協の概算金ベースでは約4億1000万円の減少となる。これに収入減少影響緩和対策(ナラシ対策)で1億8000万円が交付される見込みで、下落による収入は

約2億3000万円の減少と試算している。
高橋議員 コメの直接支払交付金が26年産米からこれまでの半額の10⁷当たり7500円になった。これで約1億8千万円が農家の収入減になる。直接支払交付金の半額になった分しかナラシ対策の交付金が入ってこない形で、ナラシ

対策の効果は、金額ベースでみると消えてしまっている。
市長 国の予算の中では、直接支払交付金の半額分は多面的機能支払交付金に充てたというところである。地域全体としては金額が減っていないことをご理解いただきたい。
高橋議員 個々の農家の収入減少が大問題なのであり、ど

う支援するかが問われている。今回の米価下落は国も事前に分かっていて、農業団体からは市場に余っているコメを、備蓄米として国が買い上げるよう要望していたが、国は一切応じなかったことが米価下落に拍車をかけた。米価を市場に任せている国の対応をどう思っているのか。

市長 備蓄米の政府買い上げについては、当然要望していく。今の米価は需要と供給のバランスで成り立っている。今後農協が市場動向を見極め、供給をコントロールし価格を上げていくことを期待したい。

●他の質問事項 人口減少問題について



きたぐち かずお
北口和男 議員
(無会派)

市長の市政運営の理念 新庁舎開庁で新たに出発



地方創生モデルとなる小松製作所
栗津工場を視察 (昨年11月7日)

北口議員 農と輝の大地実現のための念願であった新庁舎が開庁した。市長の市政運営の理念は。
市長 新庁舎開庁が旧3町村合併の集大成であるとともに、八幡平市の新たな出発点になる。市職員が一丸となり、市民福祉の向上と市の活性化に取り組む。

北口議員 市長と市職員との連携が合わないとの声があるがどのように認識しているか。
市長 今後そのようなことがないように意思疎通の強化や内部協議の徹底を図る。
北口議員 市民からの要望に対して、市からは回答がないことがあるがどのように改善するか。

市長 全く回答がないケースがあったとすれば、部課長を通じてすぐに対応するよう指導する。
北口議員 今後の市勢発展には、近隣市町、県との連携が重要である。どのように進めていくか。
市長 来年度、盛岡市が地方中枢拠点都市宣言を行う予定

であり、どのような施策の連携を強化することが市の発展につながるかを踏まえた上で、盛岡市を中心とした広域連携を重点に取り組む。
北口議員 地方創生推進の中で、雇用の場の創出は、法改正と企業協力の

企業の地方への誘致を国に要望するべきではないか。
市長 全国知事会では、地方へ移転などを行う企業に対する税の軽減制度の創設を訴えた、県知事も企業の本社機能の移転を要望した。全国市長会でも同様の要望をするよう提言していく。議会でも要望、提言に努めていきたい。



まい た さだお
米田定男 議員
(日本共産党)

産廃最終処分場の立地

大きな問題はある



県の次期産業廃棄物最終処分場
整備候補地(平館第2地割内)

米田議員 社会に産業活動が存在する限り、産業廃棄物が発生することは必然であり、住民の暮らしや自然などに影響を与えない安全な廃棄物の処理を構築するのは社会の責務である。八幡平市が県の次期産業廃棄物最終処分場の整備候補地の一つとなっているが、最終処分場の立地につ

ては、何よりも住民が施設そのものや、その維持管理について納得するかどうかが判断の前提ではないか。
副市長 交通安全上、広域農道に大型車両が入ってくるということや、予期しない大雨が降った場合に処分場に堆積する水をどう排水していくかは大きな問題と考えている。

具体的方向性が出た段階で、県には申し入れていかなければならない。
米田議員 ごみの県央ブロック広域化計画は、処理施設の建設費や維持経費の削減を第一の目的としているが、ごみ処理の効率化は、まずごみの減量化、資源化が第一であるべきだ。

市民課長 減量化で施設の規模なり全てに影響してくる。地球温暖化対策などを考えても、減量化、資源化の推進を重点にするのが基本と認識している。
米田議員 八幡平市環境基本計画前期行動計画では、27年度のごみ排出量の目標は、22年度比5・2%減としている

が、25年度実績は6・8%増であった。具体的な分別の推進などの手立てを取らなければごみの削減は実現しない。
市民課長 さまざまな取り組みをしてきたが、現実の成果は上がっていない。具体的な分別の取り組みを強化し、短期・長期的な対応が必要な部分も検討しながら推進する。



やまもと さかえ
山本 栄 議員
(日本共産党)

サービス低下しないため

介護予防・生活支援充実



実情に応じたサービスの提供を
(介護施設のデイサービスの様子)

山本議員 第6期介護保険事業計画が平成27年4月からスタートする。厚生労働省が示した新しい「介護予防・日常生活支援総合事業」では非専門職のサービス提供が可能になり、市として要支援者の締め出しや期間限定の打ち切りなど、サービス低下がないような取り組みが必要である。

山本議員 施設入所待機者の問題は急務である。増床すれば保険料に跳ね返るという問題はありますが、待機者をなくす努力をすべきである。現在の待機者数と施設整備計画は、**市長** 平成26年3月31日現在、早期な入所が必要な待機者は38人である。また、第5期介護保険事業計画に基づいた特

別養護老人ホームの新設が進んでいる。次期計画の施設整備は、保険料の上昇に直結することから待機者の動向を見極めた上で慎重に検討する。**山本議員** 盛岡北部行政事務組合の第5期介護保険事業計画での65歳以上の介護保険料は県内で一番高くなっている。第6期計画では保険料の引き



たむら たかし
田村 孝 議員
(新政クラブ)

合併10年に向けた検証

後期計画は75%事業着手



合併のシンボルである新庁舎

田村議員 八幡平市が誕生し10年を迎える。ハード・ソフトの両面で検証が必要ではないか。

市長 総合計画基本計画を基に市政の検証を行っているところである。後期基本計画の25年度までの実績は、全体事業に対して着手率は75%である。今後は、行政評価で各施策、事業の成果目標がどれだけ達成され、どのように改善すればよいか検証を進めたい。

軽自動車税率改正 市民の影響と税収

田村議員 地方税法の改正で軽自動車税の税率が引き上げられる。市民への影響と市の税収はどの程度か。

市長 27年度は430万円ほど税収の増を試算している。**税務課長** 小型特殊自動車のうち農耕作業用のは、市町村が定められた範囲で税率を再設定できる中で一番低い1台2000円にした。盛岡税務署管内では八幡平市だけであり、農の大地を支える農家の負担軽減のためである。

河川災害に対する 事前の計画と対策

田村議員 八幡平市の河川災害に対して、市の計画と対策はどのようになっているか。**市長** 市が管理する河川は、現況の機能を維持しながら、災害が発生した場合、復旧対策に努めていく。

田村議員 被害を軽減するためには、災害が起きる前に事前の対策が必要ではないか。**建設課長** パトロールなどをしながら、被害が起きそうなところは十分でないにしても修繕する手法をとっている。

●他の質問事項 市内の農地集積について



ふるかわ つよし
古川津好 議員
(緑松会)

早急な消防署の統合

次期行政改革大綱で検討



人も減る、団員も減る、消防署も？

古川議員 市の第1次行政改革大綱で、常備消防の松尾出張所を八幡平消防署本署へ統合することがうたわれていた。その後の進展状況はどうか。**市長** 盛岡広域消防組合本部の通信指令業務の統合も実施されていることから、本署、各出張所の消防救急業務の状況を確認しながら対応したい。

古川議員 他の自治体と比較して八幡平市の負担は突出している。統合して職員を減じるにも時間を要する。早急に進めるべきではないか。**副市長** 28年度からの次期行政改革大綱で検討したい。**古川議員** 人口減少につれて、消防団員も減少している。再編が必要ではないか。

市長 団員の減少で消防活動などに支障も出てきている。消防団本部で分団の意向など再編の協議が始められており、その状況を受け検討したい。**合併10周年記念事業** **古川議員** 合併10周年記念事業はどのようなものを企画しているか。

市長 市民憲章推進大会に併せた記念式典のほか、市内を南北に縦断する国道282号での次代を担う子どもたちの駅伝などを企画している。**クラブ活動への支援** **古川議員** バス料金が大幅に値上がりし、遠征など子どもたちのクラブ活動で支障が出

てきている。何らかの支援が必要ではないか。**教育長** 学校事業の一環として行われる大会には公用バスを配車しているが、現況では体育協会なりを通じての支援である。**副市長** これまでの活動状況や料金の値上がりを踏まえての対応になるかと思う。